



## 新社会主義という模索

令和6年5月22日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

競争という原則から新しい共生という世界への転換へ、新社会主義という可能性を現実は与えられる。

これらは技術進歩における新しい未来における世界のシステムの模索である。

競争という原則は自由経済システムと国際政治における絶対的な現実である。しかしこの対立の構図は、数限りない問題を与えるのである。

これら現状の世界のシステムに対して新社会主義という新しい調和と共生の理想は、技術進歩とともに新しい未来の模索を実現できるのである。

これらに対比するのが、競争と夢というアメリカのダイナミズムである。しかし東洋的な発想と思想における共生という新しい社会システムは、技術進歩における未来の可能性の探究を実現できるのである。

これらはまた政治が全ての人々への責任を自己とすることにおいて新しい社会と生活に基盤した世界の創造が実現できるのである。

これら新社会主義という思想は、北欧の社会進歩性などを参考に、ベーシックインカムなどの社会システムを真剣に考慮することを提案するものである。

これらシステムという基盤は来たるべき未来における新たな技術文明を可能とするものである。それらは競争という現実が未来においてその制限性を与えることは存在するのである。

これらは現状の自由経済システムが緩やかな統制を得ることなどの考慮することができる。過度の競争は、弊害を与えるのである。

これらはデジタル社会への転換が、政治における社会の統制を求めることにおいても、その選択が存在するのである。